

# Body Senses

身体を巡る3つの視座



過去から現代に至るまで、その認識が目まぐるしく変容している「身体」というモチーフを用いて表現を实践する三作家の、時代と形式を超えた協演

\* 月曜・8月31日(Wed)は休館



2022

8.11~9.19  
Thu Mon

10:00-17:00 入館は16:30まで

場所:文教の杜ながい丸大扇屋(内蔵・新蔵)  
入館料:無料

Scheme (Emotion gauges)/2022  
#011/2022  
お先真っ暗/1977



2016年 東北芸術工科大学芸術学部洋画コース卒業  
2019年 京都市立芸術大学院芸術研究科修士課程絵画専攻修了

◆主な個展

- 《2022年》  
「Tools are validated」Tang contemporary art, パンコク  
「駿 Blacken」HIVE CENTER FOR CONTEMPORARY ART, 北京
- 《2021年》  
「現れるのに勝手はない/ No excuses for showing up」LEESAYA, 東京  
「Hierarchy of Beasts」GALLERY MEME, ソウル
- 《2020年》  
「In search of...」14a, ハンブルクなど

Photo by Tatsuke Nakano



現れるのに勝手はない (つかいはもの魚目)  
2021/45.5×53cm/キャンバスに油彩



2022年 東北芸術工科大学 美術科 総合美術コース 卒業  
東北芸術工科大学 芸術文化専攻 複合芸術研究領域 在籍

◆主な経歴

- 《2015》New York エンターテインメントコンテスト「アポロシアター」準優勝
- 《2016》  
「アポロシアター」「Show-off」準優勝 「Top dog」3位 「Super Top dog」出場  
Legend Tokyo コレオグラフィコンテスト 準優勝 オーディエンス賞受賞  
NHK 紅白歌合戦 バックダンサー出演
- 《2019》  
World of Dance Japan 3rd place World of Dance Los Angeles 出場  
公益財団法人クマ財団 3期奨学生
- 《2020》  
東北芸術工科大学学長奨励賞受賞、公益財団法人クマ財団 4期奨学生



point-point 2021 | 写真



p-p-f 2022 | 映像 / インスタレーション



1931年 東京美術学校(現東京芸術大学)を卒業  
昭和初期のモダニズム運動の影響下で実験的な彫刻創作に挑み、現代具象彫刻の先進気鋭と評された

◆主な経歴

- 《1931》帝展(現・日展)に「インテリゲンチャ」初入選
- 《1941》聖戦美術展で「英霊」陸軍大臣賞受賞
- 《1957》長井小学校に「慈愛」を制作
- 《1974》長井市民文化会館に「花の長井」制作
- 《1988》長井橋に「長井橋 昔と今」を制作
- 《1993》10月22日、心筋梗塞のため急逝
- 《1997》長井名誉市民となる



自縄自縛 1975/セメント

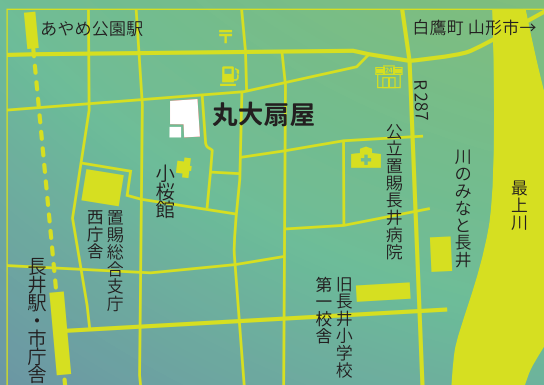
## 身体の自明性を問う三作家の実践

20世紀を生きた彫刻家・長沼孝三は、豊かな自然環境によって育まれる身体や精神性を重視し、西洋の模倣ではない日本独自の造形表現を求めて多くの彫塑作品を制作しました。そして2022年となった現代、デジタル化や世界的パンデミックなど、身体を巡る状況は目まぐるしく変容しています。このような現状に、現代の若手芸術家はどのように対応しているのでしょうか。ペインターの皆藤齋は、軽快な色調と不穏な図像との間で、幻想と現実の両面から身体を問い直すような作品を制作しています。ダンサーの横田勇吾は、ストリートを舞台にアニメーションダンスを実践し、デジタルとアナログの狭間で身体を捉えなおすような表現を試みています。

本展を通じて、時代やジャンルを超えた三作家による表現を体感し、近くて謎めいた身体という主題について考察します。

TALK EVENT 8.21 Sun 14:00-15:30  
長沼孝三彫塑館

皆藤齋 × 横田勇吾 若手アーティストによる、トークイベントを開催します。



一般財団法人 文教の杜ながい 丸大扇屋・長沼孝三彫塑館・小桜館

主催/文教の杜ながい 助成/令和4年度山形県地域生涯学習事業 協賛/公益財団法人クマ財団

Access フラワー長井線長井駅より徒歩13分、あやめ公園駅より徒歩6分

お問い合わせ 一般財団法人 文教の杜ながい  
山形県長井市十日町1-11-7  
Tel:0238-88-4151 E-mail:bunkyou@e.jan.ne.jp



Instagram @bunkyounomori  
Twitter twitter.com/Bunkyouno\_Mori

